

研修のねらい

- コンプライアンスの必要性を確認し、倫理意識の向上が図れます。
- 公務員として行すべきことと、行ってはならないことがより明確となります。
- 実践的な事例研究により、日常業務に潜む“落とし穴”への対策が万全となります。

公務員倫理は、公務員一人ひとりが、常に自分の行為を社会規範の観点から見つめ、自律的に行動するものに他なりません。しかし、個人の行動は、往々にして職場の行動原理にも影響を受けています。したがって、公務員倫理を考えるに当たっては、組織（職場）文化も射程に入れる必要があります。

また、公務員の職務の特性（公益性・中立公平性・権力性・独占性・裁量の広さ）も、公務員倫理に影響を与える要素です。この理を無視して、「～をしてはならない」を覚えこませようとすることは、「公務員倫理の内面化」を阻害し、学習したことのない突発的な事態に対応できない事態を招く危険があります。

この研修では、公務員倫理を、① 日常倫理 ② 仕事上の倫理に分け、それぞれが求められる理由を明らかにします。講学上の分類が現実の問題と乖離しないよう、多くの悩み多き事例（倫理上のジレンマ）を挙げ、集団討論⇔講義を繰り返し進めていきます。また、起こりうる不祥事や法令違反の洗い出しをして、防止策を考えます。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日コース	
午前	◎ オリエンテーション 1. 法令等遵守（コンプライアンス）の基礎知識（総論） (1) コンプライアンスとは (2) 時代の変化とコンプライアンス (3) コンプライアンスの基本的考え方 (4) コンプライアンスの全体像 (5) 事例分類・原因分析
	2. 公務員倫理の全体像 (1) 倫理と法 (2) 公務員倫理の源泉 (3) 公務員の職務の特質 (4) 公務員倫理の全体像 ① 日常倫理について ② 仕事上の倫理について ◇ グループ討議 ◇
午後	3. 公務員倫理の3類型 (1) 義務的行為（服務規定等） (2) 組織の行動原理 ◇ グループ討議 ◇
	4. 不祥事の現状 ・ 懲戒処分現状 ◇ グループ討議 ◇ ◇ 研修の振り返り ◇ ◎ まとめと質疑応答

講座料 1日研修 160,000～200,000円（税別）

時間 9:00～17:00【12:00～13:00を除く】 ※ご相談に応じます。

資料 テキスト使用1,500～2,000円／冊（税別）